

NO.278

…もくじ…

特集1 「認定こども園」多様なニーズに対応…2・3
 高齢者の口腔ケア……………4・5
 福祉用具紹介……………7
 福祉の学校紹介……………8・9
 ほっとすぽっと 山梨学院大ディターレントクラブ ……10
 特集2 シルバー作品展・俳句大会……………11~13
 認知症介護ホットライン……………14
 広がれ！地域福祉 甲州市……………15
 福祉施設訪問「はるかぜ」……………15
 おしらせ……………16

やまなしの 福祉

2007年7月号



子どもたちの安全にもひと役

山梨学院大学陸上競技部（部員86人）の学生は、昨年10月から「走る子ども110番安全パトロール」のゼッケンをつけて練習しています。

（甲府市内）

発行 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新一丁目2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
http://www.y-fukushi.or.jp/



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金
配分金により発行されています。

環境ISO14001の認証に基づき「環境に
優しく人に優しい福祉活動の推進」を
図っています



古紙配合率70%再生紙を使用しています

幼・保の連携を実現へ

「認定こども園」多様なニーズに対応

平成18年10月1日、「就労前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が施行され、同年12月には「山梨県認定こども園の認定の基準を定める条例」が公布されました。この

制度は、幼稚園と保育所の機能と役割を生かしながら、その両方の役割を果たすことができる新しい仕組みです。本県では未設置ですが、全国で94カ所が認定されています（4月1日現在）。

制度化の背景

わが国では、就学前の子どもへの教育・保育は、幼稚園と保育所がそれぞれの役割を担ってきました。

幼稚園は、満3歳からの子どもに対し、1日4時間を標準に教育を行う学校です。保育所は、保護者の就労などの事情により保育に欠ける0歳からの子どもに対し、1日原則8時間の保育を行う児童福祉施設です。

ところが、少子化や核家族化の進行、共働き世帯の増加など、社会の変化により、幼稚園・保育所という機能だけでは、保護者のニーズに 대응することができなくなってきました。こうした課題に 대응しようと誕生したのが「認定こども園」です。

認定こども園とは

幼稚園や保育所などが次の機能を備え、条例に基づく認定基準を満たす施設であれば、都道府県知事から認定を受けることができます。認定を受けても、幼稚園や保育所などの位置付けは変わりません。

①保護者が働いている、いないにかかわらず、すべての子どもを受け入れ、教育と保育を行う

②すべての子育て家庭を対象に、子育て相談や親子の集いの場所を提供する

認定こども園の類型

地域の实情に応じて認定が受けられるために、4つの類型になっています。

○幼保連携型

認可幼稚園と認可保育所とが連携して運営する

○幼稚園型

認可幼稚園が、保育に欠ける子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備える

○保育所型

認可保育所が、保育に欠ける子ども以外の子どもを受け入れるなど、幼稚園的な機能を備える

○地方裁量型

幼稚園、保育所どちらの認可もない地域の教育・保育施設が運営する
類型別認定数は上の表のとおりです。

利用手続き

「認定こども園」の認定を受けた施設は、保育所であっても、保護者（利用者）との直接契約となります。

全国の認定こども園の認定数（平成19年4月1日）

類型別・公私別認定数

	幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型	合計
公立	16	0	7	0	23
私立	29	32	6	4	71
合計	45	32	13	4	94

新たな価値創出 施設は負担増加

廣瀬 集一

平成18年10月に「認定こども園」制度が国会を通過、12月には山梨県で条例化され、幼保の総合施設設置が可能となりました。

従来の幼稚園が保育園を、保育園が幼稚園と同じ園舎や敷地内で同時に運営できることで、利

ず幼稚園の所轄庁は文部科学省、保育園の所轄庁は厚生労働省となっており、施設に掛かる負担は大きく、多様なニーズに対応することで複雑化するばかりです。

都市部には保育園に入りたくても入れない待機児童が増え、一方、周辺地域では保育園が少なく、これまでも幼稚園と同じ役割を行っていたことも現実です。

遊び、給食も一緒



「みんなで食べるとおいしいね」

特区で「合同」実現

定林寺幼・保育園が成果

市川三郷町

市川三郷町にある学校法人定林寺立正幼稚園と定林寺立正保育園は、同一の敷地内にあります。

昭和44年11月1日に幼稚園、同47年6月1日に保育園が、地域のニーズに応える形でスタートしました。

「開園当初数年は、定林寺の園庭は、フェンスで仕切られていました。幼稚園児は幼稚園の庭、保育園児は保育園の庭で遊ぶという制度上の考えからです。通ってくる子ども達は、幼稚園も保育園も関係ないのに

：」と語るのは、開園時を知る功刀清美子前保育園長。少人数で過ごす子どもたちがおとなしい一方、大勢の仲間と過ごす子どもたちは活発。同い年であっても、どちらの園で過ごすかで、その成長の違いにも気付いたといいます。幼稚園・保育園の先生が協力することで、運動会や遠足など、合同保育を増やしていきま

した。共働き世帯の増加などにより、保育時間が原則4時間の幼稚園の子どもが減少する中、いかに運営していくかが大きな問題となった頃、構造改革特別区域（注）の制度を知りました。

平成16年12月8日、旧六郷町は、事業主体を定林寺幼稚園・保育園とする幼児一元化特区「幼稚園児及び保育所児等の合同活動事業」の認証を受けました。

「認定こども園」は新たな存在価値を生み、19年度は全国で94施設がスタートしました。これらの中には、公立保育所が地方自治体の方針として認定を受けたところも多く、地方分権時代の今、各地方自治体の中での考え方や取り組みが目まぐるしく変わります。

〓県社会福祉協議会広報委員会委員（和泉愛児園長）

より、保育時間が原則4時間の幼稚園の子どもが減少する中、いかに運営していくかが大きな問題となった頃、構造改革特別区域（注）の制度を知りました。

平成16年12月8日、旧六郷町は、事業主体を定林寺幼稚園・保育園とする幼児一元化特区「幼稚園児及び保育所児等の合同活動事業」の認証を受けました。

ようやく1人の子どもに

対し、幼稚園の先生も保育園の先生も、どのように教育・保育するかを一緒に考えることができるようになりました。

同じ年の子どもたちは、同じクラスで遊ぶのはもちろんのこと、給食などの時間も一緒に過ごします。幼稚園児の預かり保育などを通じて、子どもたちの成長に大切な異年齢児交流も行います。

また職員待遇の変化もありました。例えば、幼稚園に異動する場合は、保育園は退職扱いにしなければならぬといった問題も解消

されたのです。定林寺で働く先生は、みな幼稚園教諭と保育士資格を取得しています。

地域のニーズや子どもたちの育ちを大切に考え、認定こども園に近い形態として運営されている定林寺立正幼稚園・保育園です。

（注）構造改革特別区域：平成15年4月に施行された「構造改革特別区域法」に基づく。従来、法規制などの関係で事業化が困難な事業を特例として行うことが可能になる地域のこと。

口は命の源 高齢者の口腔ケア

県立介護実習普及センターでは5月30日、テーマ別介護講座「口の中の健康管理」を開催しました。講師の山梨口腔保健センター歯科医師・朝日めぐみ先生は「高齢者の口の中の特徴と問題点を知っておくことが大切です」と話されました。

口腔ケアの基本的手順や入れ歯の正しい洗浄方法を紹介します。



口腔ケアとは

- ①歯磨き、うがいといった口腔清浄
- ②入れ歯の手入れ
- ③うまく食べられない方の機能訓練など、口腔の機能を回復すること

口腔内の細菌は、飲み込む力が弱くなった人の場合、だ液とともに気管に流れ込み、誤嚥（ごえん）性肺炎を引き起こす危険があります。また細菌は、頻繁に血中に流れ込み、菌血症や細菌性心内膜炎などの病気を引き起こす恐れがあると言われています。丁寧な歯磨きは、菌こうを除去し、だ液の分泌が促され、口腔内の自浄作用（自分できれいにする力）にも良い影響を与えます。

口の中、乾燥していませんか

だ液の働き

食べ物を流すだけでなく、口の中を殺菌し、口腔内の清潔を保っています。だ液が少なくなると、ドライマウスになります。

ドライマウスの症状

- ・虫歯や歯そこのうろうになりやすい
- ・口内炎などの粘膜のトラブルや口臭がひどくなる
- ・口の中がネバネバする、舌がヒリヒリして痛くなる
- ・話しづらくなる
- ・入れ歯がすれて痛くなったり、合わなくなる

ドライマウスへの対処

- ・口の中を清潔に保つ → 歯磨き、舌磨き、マウスリンス（洗口液など）で清潔にします。
- ・常に潤おす → マウスジェル（お口の中に薄く、まんべんなく塗るジェルタイプのもの）やマウススプレー（口腔用スプレー）で潤いを保ちます。

舌をきれいに

- ・口臭は舌の汚れが原因になることがあります。舌専用のクリーナーで舌磨きをしましょう



口腔ケア展示品

介護は、高齢者の状態にあわせた方法を見つけることが大切です。

「本当にこれでいいのかな」と思っていることはありませんか。

そんな「いいのかな」に応えるため、県立介護実習普及センターでは、さまざまな介護講座を開催しています。

また「介護で困っていること」の相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行等
お気軽にご相談ください。



名鉄観光 サービス
株式会社

甲府営業所

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-12 白木屋ビル内
Tel055-228-3221 Fax055-228-1457

各種御会合承ります



ベルクラシック
甲府市丸の内1-1-17

TEL 055-253-4345

介護講座のご案内 (7-11月)

講座		開催時間	7月	8月	9月	10月	11月
入門介護講座		9:30~12:00		29(水)			
		13:30~16:00		29(水)	5(水)		
テーマ別介護講座	介護を支える保健医療福祉サービス	10:00~15:00			11(火)		
	口の中の健康管理	13:00~15:00			13(木)		
	自立を促すリハビリテーション	10:00~16:00				18(木)	
	お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応	10:00~16:00				16(火)	
	寝具・衣類のお世話と床ずれ予防	10:00~16:00				23(火)	
	清潔のお世話 (2日間)	10:00~16:00				25(木) 26(金)	
	お年寄りの排せつの問題とそのお世話	10:00~16:00				30(火)	
	お年寄りの食事のお世話 (4日間)	9:00~14:00				20(木) 21(金) 27(木) 28(金)	
介護ボランティア養成研修		9:00~16:00					6(火) 7(水)
青少年介護講座		9:30~16:00	26(木) 27(金)	7(火) 9(木) 10(金)			
夏休み小学生介護講座		9:30~15:30	30(月)	17(金)			

なお12月7日(金)、11日(火) 13:30~15:30で認知症介護講座(2日間)を開きます。

- 申し込み受け付け 講座開催日の1カ月前から
- 申し込み方法 電話・FAXにて、お申し込みください。
- 受講料 無料(実費を負担いただく講座もあります)
- 申し込み・問い合わせ先 山梨県立介護実習普及センター
電話055・254・8680 FAX055・254・8690

8月・9月の福祉用具・住宅改修相談のご案内

車いすやベッドの選び方、「お風呂場に手すりをつけるにはどうしたら良いか」といった相談に専門家が応じます。

	理学療法士	作業療法士	建築士
8月	8日(水)	11日(土)	11日(土)・22日(水)
9月	8日(土)	12日(水)	8日(土)・26日(水)

相談時間は、いずれも午後2時から午後4時までとなります。※予約優先

相談予約・問い合わせ先 山梨県立介護実習普及センター

電話055・254・8680 FAX055・254・8690

☆山梨県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp>) 福祉用具・住宅改修お問い合わせフォームからのメール相談も受け付けています。

生活用具 着替えや爪切りをサポート

着替えや爪切りなど普段何気なくしていることができにくくなる…たとえば「ボタンを外すことはできても掛けにくくなってしまった」「靴下がうまくはけない」など、誰もがいつかは経験することですが、不安やいらだちを感じるが多くなります。

ひざを曲げられなかったり、前傾姿勢が取れなければ、靴下をはいたり、爪を切ることは、とても困難な動作です。

自助具を使えば、そうした困難な動作も無理なくできるようになります。

「できることは自分でしたい」「介護の負担を減らしたい」。そんな思いに応える福祉用具を紹介します。



商品名 ボタンエイド
特徴 ボタンホール越しに道具の先端をボタンに引っ掛け、持ち手を引っ張ることでボタンを掛けることができます。ボタンの大きさに合ったサイズの補助具を選ぶことが大切です。



商品名 ボトルオープナー
特徴 手の力が弱くても、びんのフタに乗せて回すだけで、簡単にフタを開けることができます。フタの直径1.5～8cmのびんに使用できます。



商品名 ワンハンド爪きりⅡ
特徴 爪切りが台に固定されているため、手のひらを押し下げると爪を切ることができます。



商品名 ソックスエイドE
特徴 靴下の中に補助具を入れてから、靴下に足を入れ、ひもを引っ張るだけではなくことができます。腰を大きく曲げる必要はありません。

山梨県立大 (甲府市)

山梨県立大学は、県立女子短期大学と県立看護大学とが統合により開学した、今年で3年目の新しい学校です。

福祉系の人間福祉学部をはじめ、看護学部と国際政策学部の3学部で構成されています。

人間福祉学部の講義は、障害のある方やボランティアを支援する団体などが講師を務めることもありま

す。こうした現場の声、活動を知ること、学生自身が感じたことを学習に生かすなど、特色ある授業づく

りに取り組んでいます。「高校生の時にボランティア活動に参加した」祖母が利用するデイサービスセンターを訪問した「など、何らかの福祉とのかかわりをもつ経験者も多い同学生コミュニティ学科の在生

たち。中でも「福祉の職場で働く職員の姿を見て、介護の職業に就きたい」といった声は、励みになる言葉と同時に、今福祉に携わる者にとって改めて次の世代を育てる責任を感じるものです。

現場を重視した授業 地域との交流も促進



介護を学ぶ姿はとも真剣

また同大は「地域に開かれ、地域と向き合う」という理念を実現するために「地域研修交流センター」を設置しています。県内の自治体、学校、企業やNPOなどと協働して、高校生向け講座をはじめ、広く県民に向けた学習講座を開催。学生にとどまらず、地域に必要な人材の育成も担っています。

福祉の 学校紹介

県内の福祉人材を育てる学校を紹介します。

人間福祉学部

福祉コミュニティ学科

(定員60人)

①資格・免許 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格、介護福祉士、社会福祉主事等任用資格、中高教諭1種免許状(家庭科)、高校教諭1種免許状(福祉科)

②卒業後の進路 官公庁、学校、各種福祉施設、病院、社会福祉協議会など

人間形成学科 (定員20人)

①資格・免許 幼稚園教諭1種免許状、保育士、社会福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事等任用資格

②卒業後の進路 幼稚園、保育所・児童養護施設など

○所在地

甲府市飯田5-11-1 飯田キャンパス(電話055・224・5261 FAX055・228・6819)

○ホームページ <http://yamanashi-ken.ac.jp/>



第一システム販売株式会社
情報処理システム事業部
甲府市国母6-4-3
TEL:055-228-3677
<http://www.daiichi-system.co.jp/>

福祉業務支援ソフトウェアの導入からサポートまで

排泄介護の夢。

世界初、自動排泄処理機「マインレット夢」
完全な自動排泄処理機能を備え、排尿・排便を自動吸引。
ウォッシュレット機能によりおしりを温水洗浄、温風乾燥。常に清潔で快適。さらに消臭機能はよりの介護環境をつくれます。

もう夜間のおむつ交換は必要ありません!

山梨県特約店 株式会社 **シーガル**

400-0047 山梨県甲府市徳行1-6-15
TEL/FAX055-222-9037 <http://www.seagull-co-ltd.com/>

健康科学大(富士河口湖町)

健康科学大学は、県内初の福祉・医療系大学として

開学。今春、3学科(理学療法、作業療法、福祉心理)の第1期生が卒業したばかりです。

同大カリキュラムの特色は、豊かな人間形成と国家資格の取得を両立させることです。大学4年間の前半を教養系科目、後半を専門科目に分けず、1年次から

少しずつ専門科目が始まり、逆に総合基礎科目を4年次まで続けます。こうした一貫教育により、人間的に成長しながら、専門知識を深めることを目的として

一貫教育で成長促す ボランティアも重視



仲間とともに卒業課題に取り組む

またボランティアを理解するため「ボランティア論」

を全学科の必修科目とするのは「支援する人の幸せが同時に自分の幸せと感じられる医療・福祉の専門家の育成」を理念とする同大学の考えを反映しています。

理学療法科(定員60人程度)

①資格・免許 理学療法士
国家試験受験資格

②卒業後の進路 病院、ヘルスケア関連企業など

作業療法科(定員60人程度)

①資格・免許 作業療法士
国家試験受験資格

②卒業後の進路 病院、高齢者・障害者施設など

福祉心理学科

(定員75人程度)

①資格・免許 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事・児童指導員・認定心理士任用資格

②卒業後の進路 高齢者施設、病院、官公庁、ヘルスケア関連企業、各種団体、一般企業など

○所在地

富士河口湖町小立7178
(電話0555・83・5240)

FAX0555・83・5100)

○ホームページ <http://www.kenkoudai.ac.jp>

福祉の就職総合フェア2007 inやまなし「夏」を開催します

福祉人材センターは、福祉職場への就労を希望する方や福祉の仕事に関心のある方などを対象に、仕事の内容、資格、職種の説明、また社会福祉施設・団体・企業などとの個別相談ができる就職フェアを開催します。

参加費は無料。多数のご参加をお待ちしています。

◇日時 7月27日(金) 13時~16時(受け付け12時~15時30分)

◇会場 アピオ甲府(中巨摩郡昭和町西条3600 電話055・222・1111)

◇各種相談コーナーなど

・種別施設相談

- ・福祉の仕事なんでも相談
- ・ハローワーク相談
- ・関係機関相談
- ・福祉人材センター登録相談
- ・求人求職者に役立つ社会保険労務士会ミニ講座



個別相談の様子
(2006年開催)

県社協ホームページ<http://www.y-fukushi.or.jp/>もご覧ください。

次回フェアの開催は、10月5日(金)です。(山梨県福祉人材センター電話055・254・8654)

学生と教職員が一緒に考える、学園祭や国家試験受験対策などに取り組めるのは、少人数だからこそ実現できるものです。「マニュアル対応ではなく、利用者さんとともに考える」の姿勢は頼もしい。

え、個人個人に合わせたきめ細やかな支援をしていきたい。この学校で自分の可能性を広げ、将来は自分以外の人の可能性を広げたい」と希望を語る在学



山梨学院大に全国初の学生自主防犯組織として「ディタレントクラブ」が誕生して丸3年。キャプテンを務めるのは横山ルッカスさん（法学部4年）だ。約30人のクラブ員とともに、地域の安全や児童・生徒の下校時の付き添いなどの活動を続けている。

結成したのは平成16年7月。キャンパス周辺でコンビニ強盗が発生したり、全国で子どもを狙った犯罪が多発していたことから「自分たちの力で地域を安全に」と、法学部ゼミの有志が集まった。メンバーは3、4年生が中心。2年間の活動が評価された昨年、「同好会」に昇格。大学から活動費も出るようになった。

横山さんは、ゼミに入った昨年からクラブに所属した。主な活動は3つ。キャンパス内の美化活動、周辺地域の夜間パトロール。

山梨学院大 ディタレントクラブ 横山ルッカスさん

「地域の安全を」と話す
横山ルッカスさん



「抑止」が目的。会員が日程を調整して集まり、酒折地域の大通り、路地を歩く。そろいのTシャツ（冬はジャケット）に腕章を付け、懐中電灯を持つ。「人が集団で歩いている、見回っている、というだけで予防になる」と横山さん。

里垣小、かえで支援学校の児童・生徒の安全確保のために、子どもたちの下校時間にあわせ

ール、子どもたちの下校時の付き添いだ。美化活動は、昼休みにする。数人でごみを拾って歩くが「たばこの吸い殻が意外と多い」という。

夜間パトロールは、英語の「deterrent」（抑止）が目的。会員が日程を調整して集まり、酒折地域の大通り、路地を歩く。そろいのTシャツ（冬はジャケット）に腕章を付け、懐中電灯を持つ。「人が集団で歩いている、見回っている、というだけで予防になる」と横山さん。

学生が地域パトロール／夜間や子どもの安全を守る

てパトロールする。「防犯はもちろんだが、やんちゃな子どもたちはいつげがをするか分からない。安全指導も兼ねている」。集団下校の子どもたちと一緒に歩き、最後の子どもを見送つたら再び学校へ。それを繰り返す。

横山さんは日系ブラジル人で3世になる。祖父が福島県出身。両親（母親はブラジル人）と5歳の時から長野県に住んだ。父親から「ブラジル人の誇りを持って」と教えられた。祖父たちの苦勞も聞いた。家ではポルトガル語を使い、学校や外で遊ぶ時は日本語。今は英語を含む3カ国語を上手に操る。

背筋を伸ばして礼儀正しく、敬語も交えた正確な日本語で話す横山さん。最後に思いの丈を話してくれた。

「日本にブラジル人が増えている。仕事がうまくいかなかったり、いじめもある。犯罪に走る人もいるが、本人の問題。ひとまとめで見ないでほしい。日本に貢献している人も多い。偏見をなくしたい」。ボランティア活動も「ブラジル人の誇り」が原点かもしれない。



介護の負担をお助けします



株式会社 **サシカイゴ**

介護用品・福祉用具・住宅改修

玉穂店 〒409-3803 中巨摩郡玉穂町若宮13-4 TEL055-274-1152
シルバード 〒400-0027 甲府市富士見1-3-32 TEL055-251-1121

財団法人 **山梨日日新聞厚生文化事業団**

サポートします
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 ☎055-231-3106

シルバー作品展に231点

県社会福祉協議会は、6月22日から25日までの4日間、「いきいき山梨ねんりんピック2007シルバー作品展」をこうふアルジャン展示場で開催しました。



高齢者の力作を熱心に見る来場者

内田さんから全国大会へ

県社会福祉協議会は、6月22日から25日までの4日間「いきいき山梨ねんりんピック2007シルバー作品展」をこうふアルジャン展示場で開催しました。

作品展は、豊かな知識、技能、経験をもった高齢者の文化活動を通して、ふれあいや生きがいづくりを目的として始まり、今回で16回目の開催となりました。

作品は日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に231点の応募出品が健康福祉祭いばらき大会

最高齢者の作品は、男性が桜本茂命さん(95)の書「般若心経」、女性では岡部さ津きさん(93)の日本画「徳和の風景」でした。

出品者の平均年齢は77.6歳。昨年度よりも1.5歳も延び、75歳以上の方々が積極的に参加した作品展となりました。

審査の結果、各部門から優秀賞に選ばれた12作品は、11月に行われる「全国健康福祉祭いばらき大会」

に、本県代表作品として出品します。

シルバー作品展入賞者は次のとおり(敬称略)。

- ◆日本画の部▽優秀賞 内田静枝(79)秋山邦夫(83)
- ▽金賞 進藤たへ子(78)
- ▽銀賞 柏木喜代子(77)
- 中村光信(80)▽努力賞 渡辺正子(71)伊藤栄(83)
- ◆洋画の部▽優秀賞 小松芳園(75)古明地喜代美(67)▽金賞 雨宮孝(75)
- ▽銀賞 利根川肇(73)梶本美知子(78)▽努力賞 保坂昭周(75)大村詩子(70)
- ◆彫刻の部▽優秀賞 土橋昭(78)渡辺峻(75)▽金賞 保坂仁(76)▽銀賞 武川郁雄(77)佐藤敏巳(78)▽努力賞 古屋富作(80)梶原和雄(88)

シルバー特選の15人決まる

同時に開催した「シルバー俳句大会」では、県内570人の60歳以上の方から1,106句の作品が集まりました。

俳句審査会は5月25日に、3人の選者(南俊郎さん、堤高嶺さん、加藤晴子さん)により特選15句、

◆工芸の部▽優秀賞 齊藤喜久雄(81)長田明男(77)▽金賞 望月弘明(83)▽銀賞 川上郁代(64)倉田澄子(67)▽努力賞 功刀まつる(83)内田貞子(84)

◆書の部▽優秀賞 渡辺寿子(75)関根夏子(69)▽金賞 遠藤延(82)▽銀賞 長田義男(88)中村政勝(86)▽努力賞 堀内恒子(77)駒井彰(76)

◆写真の部▽優秀賞 市川昭一(81)三澤英雄(84)▽金賞 高橋峰雄(73)▽銀賞 矢崎佳子(75)川口仁(77)▽努力賞 山本昇(78)渡辺静男(78)

入賞者の作品は、県社協ホームページでも紹介する予定です。http://www.y-jks.or.jp/

秀作30句、佳作45句の入賞作品が決定。

応募者のうち、男性の最高年齢者は佐藤弘さん(101)、女性は中尾文子さん(99)でした。

シルバー俳句大会特選・秀作入賞者は次の通り(敬称略) 特選句は13面に。

- ◆特選 南俊郎選▽村松一枝(69)田中昭夫(80)渡邊初夫(88)望月正次(86)志村雄子(68)
- ◆特選 堤高嶺選▽浅川明次(74)荻野重美(76)小野ウタ子(72)杉田悟葉(80)伊藤節子(90)
- ◆特選 加藤晴子選▽竜沢次太(77)長岡千波(67)渡辺洋(68)上原知(78)小林邦幸(86)
- ◆秀作 南俊郎選▽竜沢次太(77)佐野正雄(80)宮川東(70)川手久男(80)天野としる(63)小野ウタ子(72)仲澤公子(77)伊藤節子(90)早川久子(80)木曾愛子(76)
- ◆秀作 堤高嶺選▽佐野正雄(80)若林喜久江(86)秋山市郎(83)風間克巳(78)藤谷眞琴(67)山本琴嶺(85)宮下輝男(60)橘田智男(82)望月保男(85)小泉当子(84)
- ◆秀作 加藤晴子選▽村松一枝(69)松木新一(77)数野寛(82)渡邊てる子(82)石田義岡(80)藤森正男(88)渡辺政雄(78)坂本友枝(81)関原由美子(66)樋川宏子(85)

シルバー作品展・優秀賞作品

12、13面

〈日本画〉「昼下がりの湖畔」

内田 静枝 79歳



〈日本画〉「千手観世音菩薩」

秋山 邦夫 83歳



〈洋画〉「静物」

小松 芳園 75歳



〈洋画〉「陽春」

古明地 喜代美 67歳



〈彫刻〉「百日草」

土橋 昭 78歳



〈彫刻〉「十一面観音」

渡辺 峻 75歳



〈工芸〉「竹細工」

斉藤 喜久雄 81歳



〈工芸〉「辰砂窯変花器」

長田 明男 77歳



シルバリー俳句大会・特選句

南 俊郎 選

草笛に富士の一と葉と巻りけり

富士吉田市 村松 一枝 69歳

陽炎を押しつけてくる列車かな

笛吹市 田中 昭夫 80歳

桐の花帰郷のたびに母泣かず

都留市 渡邊初夫(光陽) 88歳

幼な子がひよこ見ている春まつり

笛吹市 望月 正次 86歳

春慶や子したる衣踊りだす

富士吉田市 志村 雄子 68歳

堤 高嶺 選

峰雲と目がけ少年槍を投ぐ

甲府市 浅川 明次 74歳

富士見ゆるまで巻き上げる青藤

富士吉田市 小野ウタ子 72歳

許し得て句碑の拓とる花の寺

甲州市 杉田 悟葉 80歳

桃の香に濡れて出荷の暁の畑

南アルプス市 荻野 重美 76歳

風光る白帆傾きつつ沖へ

笛吹市 伊藤 節子 90歳

加藤晴子 選

大杉と水音のぼる良夜かな

甲斐市 竜沢 次太 77歳

嫁ぎきて甲斐の雛となりけり

甲府市 渡辺 洋 68歳

花疲れ日記にペンを挟みけり

甲府市 上原 知 78歳

花屑へすとんと着地すべり台

富士河口湖町 長岡 千波 67歳

春暁の富士の日毎も病日誌

笛吹市 小林 邦幸 86歳



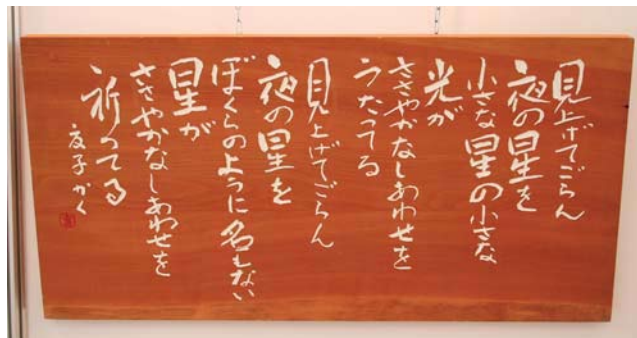
〈写真〉「よろこび」
市川 昭一 81歳



〈書〉「和光同塵」
渡辺 寿子 75歳



〈写真〉「祭りの団楽」
三澤 英雄 84歳



〈書〉「刻字」
関根 夏子 69歳

認知症介護ホットライン

専用電話 055・251・0001

(毎週金曜日午前9時～午後4時)



認知症介護を支える電話相談

一人で悩まず相談を

「認知症になった親の介護が辛い。どうしたらよいのだろう」といった悩みや介護方法などの相談に応じるため、県社会福祉協議会は平成18年度から「認知症介護ホットライン」を開設して電話相談を行っています。

主として認知症の方を介護しているご本人や、そのご家族の抱える問題が解決

できるよう、認知症の知識や介護方法をはじめ、症状に対する周囲の偏見といった悩みについても相談に応じています。

活動を行っているため、介

相談員を担っているのは「認知症の人と家族の会山梨県支部」(平井出設子代表)の会員。認知症介護の経験をもとに、認知症に対する啓発や研修などの支援

護者の立場を十分理解しています。

昨年度の相談から

事例1

90歳を過ぎた認知症の父親と同居する娘さんからの相談。

「父は、今住んでいる所が自分の家であることさえ分からず、自分の家へ帰ると言います。夜9時～10時頃、黙って外へ出て行き、近所を徘徊。おまわりさんに連れて来てもらったこともあり。私は勤めているので、昼間は知り合いの方に見守ってもらっているのですが、入所させてくれる施設があつたら教えてください」

事例2

80歳代の認知症の母親と同居する娘さんからの相談。「母は昨年の2月頃、認知症と診断され、物忘れ、失禁して汚れた衣類を押し入れに隠す、田畑を歩き回る、だるまのように重ね着

をする(行動障害を起こす)。ただ、母も世話になりたくないという気持ちが強くと、注意すると感情的になり、お互いにストレスがたまってしまいます。どこまでかわつたらよいかわかりません」

毎週金曜日午前9時から午後4時まで相談を受け付けています(年末年始、祝日を除きます)。相談は無料、秘密は厳守します。

適切な助言をします

相談員は、こうした相談

7月23日(月)～8月3日(金)
当日消印有効 ※簡易書留による郵送のみ受け付け

○受験手数料

7,000円

○その他

この試験は、平成19年度実務研修の受講者を決めるために行います。試験合格後に実務研修の受講が可能な方のみ受験申し込みをしてください。

○問い合わせ

山梨県社会福祉協議会
長寿やまなし振興センター
(電話055・254・9955)

平成19年度介護支援専門員 実務研修受講試験のご案内

○試験日

10月28日(日)

○試験会場

山梨学院大学
(甲府市酒折2-4-5)

○試験案内の配布場所

県市町村社会福祉協議会、各市町村介護保険窓口、県保健福祉事務所、県民情報プラザ(甲府市)ほか

※郵送での配布はしません

○試験申し込みの受け付け期間



広がる! 地域福祉
 説明するた
 め、対象者のお
 心となり、計画
 生委員7人が中
 ました。地区民
 援護の対象とし
 る方、25人を要
 らしのお年寄りや障害のあ

甲州市民児協の災害時対応

まず、地域住民の協力が不可欠であるため、区長に協力を依頼。また地域の防災活動を行っている消防団にも計画への理解と協力を得ることができました。



要援護者宅を訪問する中村さん

「同地区民児協は、一人暮らしのお年寄りや障害のある方、25人を要援護の対象としました。地区民生委員7人が中心となり、計画を説明するた

地域ぐるみで要介護者支援 “奥野田方式”を市内全域へ

甲州市民生委員児童委員協議会奥野田地区は、平成17年から災害時における要援護者への支援体制づくりを行っています。

宅を訪問。「緊急時は助けに来てくれる」という安心感のもと、スムーズに要援護者の登録ができました。一人の要援護者に対し、支援者（近隣住民）、担当民生委員、そして消防団員がかかわります。

要援護者の台帳には服薬の種類などを含め、災害時の生活を支える情報を記載。「今後は、台帳に記載した情報の定期的な更新と事業の継続実施をしていきたい」と中村さんは言います。

同市民児協事務局の市社会福祉協議会は、この取り組みを市内全域に広げたいと考えています。

福祉施設 訪問

小規模多機能型居宅介護「はるかぜ」 ライフスタイルに合わせた介護サービス

あずま屋づくりのひととき



今年4月、小規模多機能型居宅介護として甲府市上町に開所した「はるかぜ」（けやき通り整形外科の隣）。お年寄りが地域の中で孤立することなく、今までと変わらない生活を送る支援をしています。



季節の花が利用者をお出迎え

同所を運営する社会福祉法人心と会は、昭和54年から特別養護老人ホームを開設。これまでの経験を在宅福祉に生かし、個別処遇を大切にしたいという長年の思いが「はるかぜ」という形になりました」と、同法人理事長の中嶋眞紀子さんは言います。

同センターは、昨年4月の改正介護保険法により創設された、小規模多機能型居宅介護事業の位置づけです。ここでは、個々のライフスタイルに合わせて、通い、泊まり、そして訪問サービスを組み合わせて利用することができ、利用者は登録制で25人、利用料金（月額）は介護度に応じて異なります。

「和顔愛語」の精神が、同所スタッフのモットー。一人ひとりと向かい合いながら、その人らしさを引き出すケアをめざしています。

施設概要

施設名	社会福祉法人 心と会	敷地面積	1,064.66㎡
	小規模多機能型居宅介護センターはるかぜ	建物面積	301.84㎡（木造平屋建て）
住所	〒400-0831 甲府市上町339-2		
電話	055・244・1165		

おしらせ

県社協と市町村社協が 災害時支援協定を締結

6月7日、県社会福祉協議会と県内市町村社協は「災害時における社協相互支援協定」を締結しました。

この協定は、県内地域で地震や大雨などの災害が発生し、住民への支援が必要になった際、



市町村社協と災害時の相互支援協定を取り交わす県社協の古屋栄和会長（右）
山梨日日新聞社提供

被災地以外の社協が協力することを定めています。

こうした協定の締結は、各県

でも積極的に取り組まれています。本県の場合、各市町村社協が活動の中心となる「やまなし福祉救援活動推進員」を3人ずつ任命したことが特徴です。

県社協では、市町村社協に対し、災害時に備えた体制を整えるための訓練や研修などを行います。問い合わせ 県社協地域福祉課（電話055・251・0039）

県社協ホームページに 19年度研修計画を掲載

県社会福祉協議会が計画している研修（講座）の体系をホームページに掲載しています。

参加対象別に研修名、内容、開催時期はもちろん、開催要綱の配布時期も紹介しています。

今後は、開催要綱や申込書をホームページ上からダウンロードしていただく予定ですので、ご活用ください。<http://www.y-fukushi.or.jp/> 問い合わせ 県社協企画課（電話055・254・8610）

第三者評価調査者養成研修 受講者を募集します

福祉サービスの質を向上し、利用者が適切なサービスを選択できるよう「福祉サービス第三者評価事業」を本県では平成17年度から始めています。

事業主体の県福祉サービス評価推進機構では、昨年に引き続き、サービス提供体制の整備状況や取り組みに対し、専門的・客観的な立場から評価する「福祉サービス第三者評価調査者」の養成研修会を開催します。

○研修期間 8月21日（火）～

9月14日（金）※研修は高齢、児童、障害の3分野に分かれます。1分野受講の場合は4日間、2分野受講の場合は7日間、3分野受講の場合は10日間の研修日数となります。

○対象者 県内で福祉サービス第三者評価機関となろうとする法人（現在、評価機関となっている法人含む）に属する方、または雇用見込みなどの方（資格・経験などの要件があります）

○受講料 1分野25,000円、2分野35,000円、3分野45,000円

○申し込み期限 7月25日（水）までに受講申込書、実務経験証明書及び事前レポートを推進機構事務局まで持参

詳しくは、県社協ホームページをご覧ください。受講申込書のダウンロードもできます。<http://www.y-fukushi.or.jp/> 問い合わせ 県社協内山梨県福祉サービス評価推進機構事務局（電話055・254・8610）

福祉サービスを より良くするために

福祉サービスについて苦情相談、不満があったら、まずは利用している施設（事業者）にお話しください。事業者は社会福

祉法に基づき、次の苦情解決体制を設けています。

・苦情受付責任者＝施設長、理事など

・苦情解決担当者＝苦情受付、内容の確認を行う事業者職員

また適切な対応を図るために「第三者委員」を設置しています。

しかし「事業者には直接話にくい」「事業者の説明に納得できない」といった場合、県社会福祉協議会運営適正化委員会（社会福祉法第85条）にご連絡ください。（電話055・254・8610、FAX055・254・8614）

「月刊福祉」を 定期購読しませんか

全国社会福祉協議会が発行している「月刊福祉」は、社会福祉の新しい方向を探る総合月刊誌です。

発行日は毎月6日、定価1,020円（本体971円）、送料300円（定期購読または10冊以上の場合は送料サービス）。

申し込みは県社協総務課（電話055・254・8610、FAX055・254・8614）

